



毎度お世話になっております。株式会社シロクマです。当社はこのほどホームページをリニューアルしました。レスポンス対応で、タブレットやスマホでも見やすくなっています。また、6月8日、9日にインテックス大阪で開かれる**建築材料・住宅設備総合展「KENTEN」**に出展します(ブース番号:325)。どうぞ皆様、お気軽に足をお運びください。ご来場をお待ちしております。

今月のホット情報 広島大学教授の発案でシロクマが製作手掛ける 新しい原理で新しい音色 青銅打楽器「ポリゴノーラ」

建築金物、家具金物の分野に限らず、株式会社シロクマには時々、あっと驚くようなモノづくり案件が持ち込まれることがあります。広島大学大学院生物圏科学研究科の櫻井直樹特任教授からの依頼で当社が製作したのは、まったく新しい原理で音を出す青銅の打楽器「ポリゴノーラ」。金属加工、研磨、仕上げなどの当社技術を駆使したものです。

これは円盤や三角形の板を組み合わせた「平面多角形楽器」で、バチでたたくと板全体が自由に振動します。真ん中をたたくと日本のお寺の鐘のような音がし、端をたたくと西洋の教会の鐘の音がします。インドネシアの民族音楽、ガムランで使われる楽器の音にも似ています。ポリゴノーラはピアノやギターのような整数倍音を出す楽器とは違い、非整数倍音を出します。「ドレミ」は整数倍音からできたものなので、非整数倍音からは異なる音階ができるというわけです。

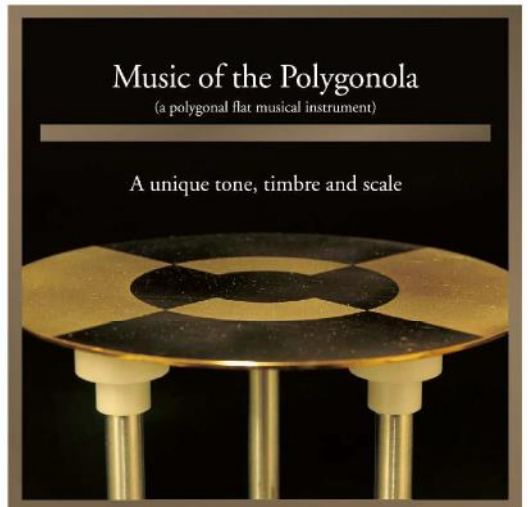
“産みの親”である櫻井教授は植物生理学者。野菜や果物に振動を与え、その時に出る音を数値化(可視化)することで、切らずに食べ頃を知るといった研究を続けておられます。その過程において、スイカの出す非整数倍音からスイカの音階を作り出すことに成功され、ポリゴノーラが生み出されました。

各地でポリゴノーラの演奏会やワークショップも開かれていますが、3月にはポリゴノーラ作品を収録したCDアルバム「Music of the Polygonola (a polygonal flat musical instrument)」を発売。

この楽器単独の演奏に加え、同じく非整数倍音を豊かに含む和楽器である琵琶や尺八との即興合奏、日本に古来から伝わる独特の旋法を持つ声明とのコラボなどで構成されています。

アルバムには日本語と英語の両方で書かれた分厚い解説書も納められています。「今後はアメリカでも販売を計画している」とのこと。

自然界の多くの音もそうですが、五線譜に表すことのできない非整数倍音を意識することで、もっと豊かな音世界が広がるかもしれません。



ポリゴノーラ作品収録CDアルバム
収録曲/12曲 定価/1,300円(税込)

シロクマで販売しています!

Yahoo!ショッピングなら「ポリゴノーラ」で



NHK「ガッテン！」に櫻井教授が出演!

5月31日(水) 19時30分~20時15分、NHK総合の人気番組「ガッテン！」(旧タイトル:ためしてガッテン)に櫻井教授が出演されます。テーマは「気分爽快! キュウリのおいしさ大発見SP」。教授のご専門の植物生理学の観点から、キュウリの食感についてのお話などをされるようです。